



平成 21 年 12 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号 2 3 6 9 : 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員管理本部長 門 井 豊  
(Tel: 0 3 - 6 7 4 4 - 2 8 8 2 )

**メディビック、「愛媛県西予市、リライアブル・タウン基盤構築事業」への参画決定  
～ テーラーメイド医療事業で培ったデータ解析技術を活用～**

この度、当社の子会社である株式会社メディビック(以下「メディビック」という)は、総務省から「ユビキタスタウン構想推進事業」として認定を受けた「リライアブル・タウン基盤構築事業(愛媛県西予市ほか連携主体)」に参画し、ヘルスケアデータの分析・評価を担当することとなりましたのでお知らせいたします。

記

現在、総務省では、医療、福祉、防災、行政、産業、農業、観光などの様々な分野において、ICT(情報通信技術)の集中的、効果的な利活用により、地域の安心・安全等の実現に資する地方公共団体等の取り組み(基盤整備、システム構築・運営、人材研修・育成等)を幅広く支援する「ユビキタスタウン構築」を推進しています。

今般の「リライアブル・タウン基盤構築事業」は、西予市(愛媛県南西部)を舞台に健康情報などをネットワークでつなぐことで過疎医療地域の高齢者保健や安否確認、特定保健指導などの推進を図るものであり、西予市を筆頭とするコンソーシアムで取り組む事業です。これにより保健指導の適正化や効率化など保健医療の充実、地域住民には山間部などであっても安心して生活ができるなどの効果が期待されています。

メディビックは、この「リライアブル・タウン基盤構築事業」におきまして、収集されたヘルスケア情報のデータ分析及び関連データの活用支援を担当します。これまで取り組んで参りました、テーラーメイド医療の関連事業における技術とノウハウが、地域社会の健康管理に貢献出来る機会となりました。

なお、本事業への参画による当社グループの平成 21 年 12 月期の連結業績に与える影響については軽微であります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディビック  
システム・解析事業部 谷合  
Tel: 03-6744-2554

株式会社メディビックグループ

当社グループは、個人の体質に合わせて副作用の少なく効果の高い薬を処方できるテーラーメイド創薬の実現を目指す企業です。具体的には、医薬品開発や研究などを行う製薬企業や研究機関などに対し、個別化医療やテーラーメイド創薬を推進するサービスや製品を提供しています。

薬の効き目の個人差を示す体質は、遺伝子によって決められています。個人の遺伝子タイプが分かれば、体質に合ったより効果の高い薬を選択し処方することができます。また、投薬前に効果を確認することで、副作用も最小限に留めることができます。このため、製薬企業では遺伝子と薬の関係を調べて医薬品開発をするようになってきています。そこで必要となるのが、PGx（ファーマコゲノミクス）です。

当社グループは、PGxを総合的・戦略的に支援できる体制を整えています。当社グループが独自に築いた、バイオ最先端の技術・情報網、そして医療機関・製薬企業などとの幅広い人的ネットワークの活用により、PGxに対するニーズを的確に掴み、顧客の要望に適した満足度の高いサービスを提供しています。

また、これまでに蓄えてきたノウハウを個人向け健康管理支援サービスとして「DNAプライベートバンク」サービスも展開しております。

当社グループは、個の医療と個の健康管理を総合的・戦略的に支援できるユニークな存在として実績を積み重ねることにより、圧倒的に優位なビジネスポジションを築いています。

当社グループに対する詳細な情報は、[www.medibic.com](http://www.medibic.com) をご覧ください。

以上